

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

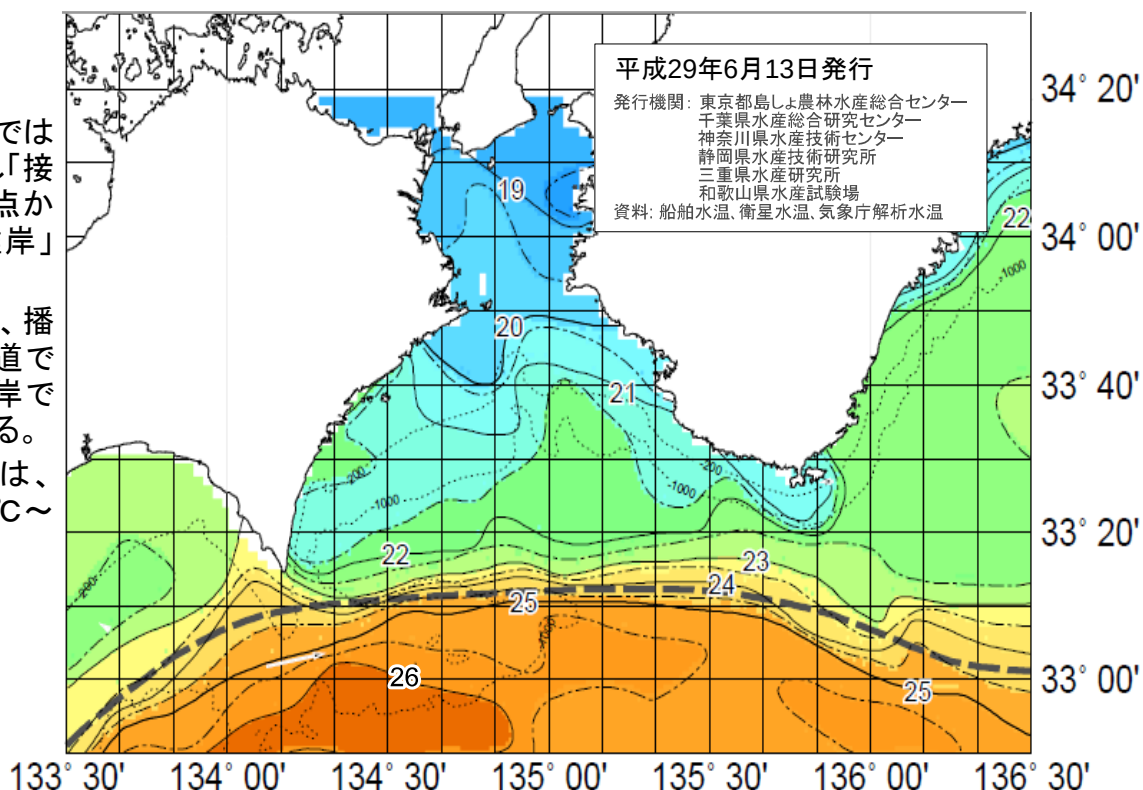
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮位置は、室戸岬沖では前号時点からやや北上し「接岸」、潮岬沖では前号時点からほぼ変わらず「やや離岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で18℃台、紀伊水道で18℃～19℃台、海部沿岸で19℃～21℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みかやや高い24℃～26℃台となっている。

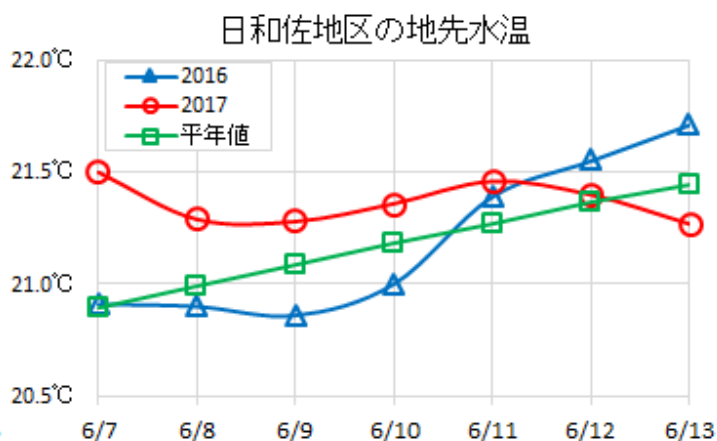
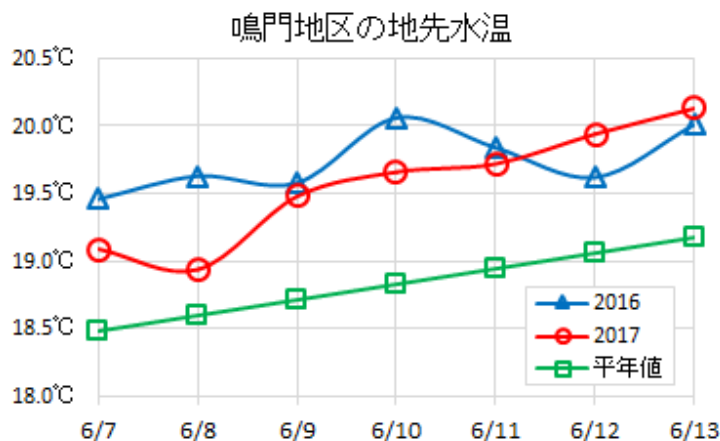


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(6月7日～6月13日)

鳴門地区の地先水温は、8日に「平年並み」の18.9℃となったほかはおおむね「やや高め」の19.1℃～20.1℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、7日「やや高め」の21.5℃であったが、その後あがらず、「平年並み」の21.3℃～21.5℃で推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上
※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(6月14日～6月20日)

黒潮は、室戸岬では「接岸」、潮岬沖では「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門では「やや高め」の20℃前後、日和佐地区では「平年並み」の21℃台で推移する見込み。

漁況 2017年6月5日～6月11日（旧暦5月11日～5月17日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

延縄ではハモが前週並みの6.9ト、太刀魚が特大主体に前週並みの0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが小小主体に前週並みの1.2ト、ハマフエフキ(くちび)が大きく増えて0.5ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく増えて2.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄では、アカムツが大きく減って0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、いわし類が減って7.9ト、マアジが大きく減って小小主体に1.1ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが小小主体に前週並みの10ト、いわし類が減って10ト、シイラが小主体に前週並みの1.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	108	シラス	60,750	563		→
	延縄	77	ハモ	6,896	90		→
		84	タチウオ	471	6	特大主体	→
		15	ゴマサバ	330	22	大主体	→
		31	マアジ	1,209	39	小小主体	→
	小型定置網	22	ハマフエフキ	460	21	大主体	↗↗
		12	ブリ	300	25		↘↘
		5	マイワシ	252	50		↘↘
底びき網	44	ハモ	2,538	58		↗↗	
海部沿岸	釣り	2	カツオ	203	101		↗↗
	延縄	14	アカムツ	390	28		↘↘
	小型定置網	25	いわし類	7,911	316		↘
		37	マアジ	1,051	28	小小主体	↘↘
		22	とびうお類	279	13		↗
	大型定置網	6	マアジ	10,273	1,712	小小主体	→
			いわし類	9,977	1,663		↘
			シイラ	1,215	202	小主体	→
			シロサバフグ	642	107	中主体	→
			まぐろ類	531	89		↘↘
			コショウダイ	336	56		↘
			ブリ	300	50		↘
		スルメイカ	298	50	小主体	↗↗	
		マルアジ	277	46		→	
	イサキ	220	37		↘↘		
	ケンサキイカ	219	36	小主体	→		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘